

平成 21 年 10 月 19 日

各 位

住友信託銀行株式会社

AXA REIM グループとの共同での不動産投資ファンド設立について

住友信託銀行株式会社(取締役社長 常陰 均/以下「住友信託銀行」)は、アクサグループの不動産投資運用会社である AXA Real Estate Investment Managers 社(CEO: Pierre Vaquier /以下「AXA REIM」)と、日本の不動産を投資対象とする投資ファンドの設立を共同で推進することにつき、下記の通り、本日合意致しました。

記

日本の不動産市場は昨年のリーマンショックによる信用収縮などの影響で悪化し、現在も低迷しておりますが、国内外の有力機関投資家の中には、グローバルな資金運用力の強化に向けて、日本の優良不動産への中長期的投資を再開・開始する動きが始まりつつあります。

AXA REIM(*1)は、AXA Investment Managers(*2)の100%子会社で、ヨーロッパに本拠を置くヨーロッパ最大級・世界有数の不動産投資運用会社であり、ヨーロッパでの確固たる事業基盤に加え、アジアでの不動産投資運用体制の拡充を推進しており、直近では中国、インドそしてオーストラリアと並び、日本における不動産投資運用体制の強化を検討・推進しています。

(*1) AXA REIM : 21カ国に500名以上のスタッフを擁し、2009年6月末現在の運用資産は約395億ユーロ(約5.3兆円)を有している。

(*2) AXA Investment Managers : 保険をはじめとする多様な金融サービス事業を展開するAXAグループにおけるヨーロッパ最大級の資産運用会社。22カ国に3,000人以上のスタッフを擁し、2009年6月末現在の運用資産は4,850億ユーロ(約65兆円)を有している。

住友信託銀行グループは、銀行・信託・不動産事業の兼業を強みとする資産運用型金融ソリューショングループを目指す金融機関として、不動産仲介業務・不動産信託受託業務に加え、不動産アセットマネジメント業務においても、不動産私募ファンド運用を担う子会社の住信不動産投資顧問株式会社と、不動産投資信託(J-REIT)運用を担う関連会社のトップリート・アセットマネジメント株式会社を通じて、年金、機関投資家、法人、個人等の不動産投資ニーズに応える体制を強化するとともに、海外投資家の不動産投資ニーズにも応えられる新たな不動産投資ファンド設立を検討してまいりました。

本日、AXA REIM と住友信託銀行は戦略的グローバルパートナーとして、両グループの不動産目利き力を活かしつつ、AXA REIM グループが有する広範な海外投資家ネットワーク力、ファンドマネジメント力と、住友信託銀行グループが有する日本の不動産市場における不動産情報力、アセットマネジメント力を融合して、東京主要区部のオフィスビルに投資する投資ファンドの設立を共同で推進し、他社に先駆けて国内外の投資家ニーズに応えることに、合意したものです。

なお、年内に詳細協議を進め、平成22年前半のできるだけ早い時期に500億円規模のエクイティ調達を目標とするファンド設立を進めていく予定です。

以上

<本件に関するお問合せ先>

不動産営業部 投資家戦略推進課 TEL03-6256-6067